

教科・科目	【書道Ⅰ】	単位数：2単位 履修年次：1年次
目標	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、生活や社会の中の文字や書、書道の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。	
教材	高校書道Ⅰ（光村図書出版）	
学習方法	<p>学習方法（留意事項）</p> <p>授業は、古典作品の理解や表現技術、現代の書の鑑賞や表現で実技が中心の科目です。単元ごとに目標を定め、その都度制作した作品は折り帖にまとめ、自己評価や反省を繰り返すことで、着実に知識と技能を習得していけるよう積極的に授業に参加してください。また、技能や表現力をより高めるためには、歴史を学び理解しつつ、書道の幅広い活動を通して書道の多様な表現を知り、味わいながら丁寧に折り帖の中にまとめるよう心がけて下さい。欠席すると作業の遅れが顕著になる科目ですので気をつけましょう。</p>	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点と言葉としての表現について理解を深めている。</li> <li>意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう必要な技能を身につけ、漢字、仮名、漢字仮名交じり書などで表している。</li> </ul>	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、書道の働きなどについて考え、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って書道や書道文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に書道の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書道を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書道文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	
評価方法	小テスト 作品評価	エスキース 作品評価	授業態度 レポート	
麻高G P				

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～ 5月	漢字の書、仮名の書の古典の鑑賞と臨書	作品制作 レポート
	6月～ 9月	漢字仮名交じり書と漢字創作	小テスト 作品制作・レポート
後期	10月～ 12月	篆刻と書道史の学習	作品制作・レポート
	12月～ 3月	漢字、仮名、漢字仮名交じり書の総合的な学習	作品制作・レポート

● [評価基準]

	実技試験	小テスト	提出物	3観点別評価点小計	学期末・年度末の 観点別学習状況の評価	学期末・年度末 の評定
知識・技能	0～20	0～15	0～5	0～40	A～C	5～1
思考力・判断 力・表現力	0～20	0～15	0～5	0～40	A～C	
主体的に学習に 取り組む態度	0～7	0～7	0～6	0～20	A～C	

評価の内容	評価
「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
「努力を要する」状況と判断されたもの	C

評定の内容	評価(ABC)の組み合わせ	評定
「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	AAA,AAB	5
「十分満足できる」状況と判断されたもの	AAB,AAC,ABB,ABC,BBB	4
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	ABC,BBB,BBC,ACC,BCC	3
「努力を要する」状況と判断されたもの	ACC,BBC,BCC,CCC	2
「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	CCC	1